

# 週報

2007年 4月 8日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。  
使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

牧師 村上定幸

**今朝の聖書から** 週の初めの日(24:1)と書きだされています。すなわち安息日の次の日の朝のことです。イエス様のそばにいた女性達・あの十字架の出来事を見ていた女性達がイエスの様の葬られたお墓に向かうこととなります。そしてイエス様の復活の出来事に直面して、本当に全ての罪から解放され、神の国が、イエス様に教えられたとおりに、現実のものになったことを体験することとなります。その意味が始めはよく分かりませんでした。そこに二人のメッセンジャーが現れます(4節)。“女たちは驚き恐れて、顔を地に伏せていると、このふたりの者が言った、「あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか」と5節で、ことの本质を伝えます。私たちはどこにイエス様とイエス様の約束を探すでしょうか。華やかで、権威を得た者には魅力的ですが、この世の中のむなしく希望のない所を選んで、**“ここにも恵みはない”**、**“ここにも救いはない”**と言っていることはいないでしょうか。希望のあるところを探しなさいと、そしてそこにイエス様の約束を求めなさい、と彼らを通して聖書は今も語っています。女性達は6節に於いて、何もない墓と、イエス様の語られた真理の、まるで反対であることを諭されるのです。マタイも28:6で**“もうここにはおられない。かねて言われたとおりに、よみがえられたのである。さあ、イエスが納められていた場所をござんなさい”**と、このことを強調しています。ここにはおいでにならないことを見なさい、と墓に遺体を求めて執着することが、まったく無意味であると言っているのです。私たちも、いま前を向いて見たいと思います。目の前には、滅びがあるのでしょうか、それとも救いがあるのでしょうか。大嫌いな事柄が目の前に広がるなら、まだ滅びの中で、何とか滅びを解決しようと努力しているのです。希望と神様の国が見えるなら、その人は滅びにとらわれることがなく、主の復活と、神様の栄光に入れられているのです。ルカ24:8で、女性達は、イエス様の語られたことが本当だったことを、思い出しながら理解することとなります。去年と同じようにやって来るイースター、私たちはどれだけ成長したのでしょうか、主にある訓練をしたのでしょうか。次の一年間、私たちは、それぞれその場において、救いの希望と確信に、一步導かれるように過ごしたいものです。